HOKKAIDO OUTDOOR FORUM 2020

オンライン

自然災害や感染症と共に生きる
北海道アウトドア

12/2 WED

9:30〜16:30

開催方法	オンライン会議システム（Zoom使用）
参加費	第１部のみ参加　無料 第1部＆第2部参加　1,000円
募集定員	第１部のみ参加　200名（興味のある方） 第1部＆第2部参加　70名（道内ｱｳﾄﾄﾞｱ関係者） ※１事業所・団体につき２名まで
募集期間	2020年11月3日（火）～11月22日（日）
主催	国立日高青少年自然の家 北海道アウトドアフォーラム専門委員会
運営	北海道アウトドアフォーラム実行委員会

お問合せ
お申込み

北海道アウトドアフォーラム事務局
国立日高青少年自然の家
TEL:01457-6-2311／E-mail：hidaka-hp@niye.go.jp

参加のお申込みはコチラから→

※参加決定後、プログラムと参加方法等について、事務局からご登録いただいたE-mailアドレスにお知らせいたします。（11/26頃を予定）

ＰＲムービー募集について

対象：本フォーラムに参加している事業者・団体（10本）
形式：MPEG４　時間：最大5分　締切：11月22日（日）
配信：YouTubeライブ（使用するBGMや映像等にご注意ください）
申込：北海道アウトドアフォーラム事務局に直接
お申込みください。

YouTube LIVE配信

第１部

9:30～　ＰＲムービー配信

9:50～　開会式＆プログラムの流れ

10:00～12:00　基調講演『自然災害や感染症と共に生きる北海道アウトドア』

自然災害や感染症と共に生きていくために、北海道のアウトドア業界はどうしたら良いのか？
４名の立場の違う講師に、それぞれの分野からお話しいただきます。

講師

10:00～10:30　岡田　悠偉人　氏（ハワイ大学疫学専門家）
10:30～11:00　安田　稔　幸　氏（北海道運輸局観光部長）
11:00～11:30　鈴木　宏一郎　氏（北海道宝島旅行社代表取締役社長）
11:30～12:00　横山　三四郎　氏（株式会社チョモランマ代表取締役社長）

12:00～13:00　ＰＲムービー配信

13:00～14:00　トークセッション

基調講演の講師陣が、参加者からの質問などをもとにトークセッションを繰り広げます。

トーク

●岡田　悠偉人　氏　　●安田　稔　幸　氏
●鈴木　宏一郎　氏　　●横山　三四郎　氏

コーディネーター
Robert Thomson氏
（北星学園大学）

Zoom使用

第２部

14:20～14:50　選択ワークショップ❶

HOFの醍醐味、選択ワークショップにオンラインで参加することができます。今年はテーマに沿った内容を「地域支援」「観光」「教育」「ビジネス」等の視点からお話ししてもらいます。

Ⓐ 井内　　聖氏（学校法人リズム学園）
『防災拠点としてのこども園運営について』
Ⓑ 高橋　正昇氏（ｼｰﾀﾞｰｽｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ株式会社）
『インバウンドの潮流・中国&東南アジア市場の可能性とその対策』
Ⓒ 新野　和也氏（NPO法人どんころ野外学校）
『災害や感染症に対してどの様に対応し、どう今後に生かすのか』
Ⓓ 能條　　歩氏（北海道教育大学岩見沢校）
『バーチャルで自然体験はどう拡張できる？』
Ⓔ 山口　雅嗣氏（株式会社TAKIBI）
『ITを活用したキャンプ場運営』

15:00～15:30　選択ワークショップ❷

Ⓐ 阿部　晋也　氏（北海道ﾉﾏﾄﾞﾚﾝﾀｶｰ株式会社）
『キャンピングカーを活用したアウトドアネットワーク』
Ⓑ 上田　　融　氏（いぶり自然学校）
『災害時に活躍するスマートモデューロ』
Ⓒ 寺岡　祐子　氏（森のようちえん 森のたね）
『行政と幼児教育・コロナ禍における野外保育』
Ⓓ 厚真町教育委員会職員
『大規模非常災害時の子どもの居場所づくり』
Ⓔ RonanMaguire氏（Whiteroom Tours）
『Short and long term challenges to inbound ski tourism』
（※英語での実施。日本語の資料配布あり。）

15:40～16:25　ふりかえり＆ネットワーキング

HOFの魅力の一つである『交流』を、オンラインの小部屋に分かれて促進しましょう！

後　援：北海道、北海道教育委員会、北海道体験観光推進協議会、日本野外教育学会
（申請中）　北海道青少年教育施設協議会、北海道キャンプ協会、北海道自然体験活動推進協議会
北海道アドベンチャートラベル協議会、日高町、日高町教育委員会、北海道新聞社

16:25～16:30　閉会式